

2015 年 2 月 4 日
マツダ株式会社

2015 年 3 月期 第 3 四半期 決算発表 主な質疑応答

1. **通期の販売計画を下方修正した理由は何か。**
 - A. 北米や中国での競争激化、ロシアの市場環境の悪化による第 4 四半期以降の販売減の見通しなどのマイナス影響と、その他地域での販売好調によるプラス影響を反映し、販売計画を見直しました。
引き続き、正価販売の取り組みを継続し、販売奨励金を抑制しながら、対前年比 5%増となる 140 万台の計画達成に向けて各市場において取り組みを加速していきます。

2. **第 3 四半期累計の営業利益が対前年 274 億円改善した主要因は何か。**
 - A. 主に SKYACTIV 搭載車の販売拡大やコスト改善の進捗に加え、為替の円安影響による改善がありました。これらが、広告宣伝活動や開発投資の強化による固定費の増加を大きく上回り、対前年で 274 億円の営業利益改善となりました。

3. **ドル・ユーロが円安の中、通期営業利益見通し 2,100 億円を据え置いた理由は何か。**
 - A. 北米や中国など主要市場の競争激化を受けて対応費用の増加が予想されること、また、ドル・ユーロ等主要国通貨の円安メリットはありますが、ロシアルーブルを中心とした新興国通貨安によるマイナス影響により為替の利益貢献の減少が見込まれます。以上の理由により、通期の利益見通しを据え置くこととしました。

#####